

編集後記

世界の一部ではまだ独裁政治下にある国もあるが、全体的動向としては民主化の波が高まりつつある。しかし、自由と平等の原理は必ずしも第三者の援護によって与えられるものではなく、各個人の責任と能力に応じて産み出すものであると考える。

さて、今月号の特集は「理学療法処方めがって」である。本誌の前身である『理学療法と作業療法』で18年前にこのテーマを取り上げ、座談会で論じられた。その後医療情報が大きな変革をとげていることから、今回も座談会をもち、弁護士、リハビリテーション医を交えて論じることになった。

いかなる立場の者であれ、チーム医療の原則下で医療を行なうに当たり、何らかの処方・指示が必要であることのコンセンサスは確認できた。さらに、その形式などにこだわることなく、患者を主体にした相互の意思疎通の手段としての認識と位置付けが重要であるとの確認もされた。しかし、理学療法士の業務が狭義の医療に留まらず、保健・医療・福祉領域に拡大されてきた現在、加藤弁護士は、患者、住民を保護する視点に立ち現行法の再考が必要と示唆された。

平林氏には医療における処方と法律、山本博司氏には新設医科大学病院の形態を踏まえ、整形外科教授の立場から理学療法部門の処方について執筆いただいた。山本氏は信頼・連携・コミュニケーションに基づいた人間味のあるリハビリ



テーションを提唱されている。

随想(理学療法処方を考える)として、岡崎、牧田、奈須田、大谷そして山守、高木の各氏にはそれぞれの立場や経験から自由に見解を述べていただいた。各氏の考えの根底には共通して情報交換・疎通としての認識があり、同時に理学療法士の倫理観、客観的姿勢などの高揚に務めることの重要性をも示唆されている。高木氏は処方と診療報酬の課題を指摘され、山守氏は老人保健施設における「生活処方箋」の概念を提唱されている。

筆者自身も過去何度か処方・指示に関連して医師との間でトラブルを起こしたことがあった。どのケースにおいてもその医師との信頼・人間関係が不十分であったことが想起される。何はともあれ、処方・指示の形式・内容については、それに関係する専門家相互の水準やどこまで患者を中心にした業務体制が構築されているかなどが反映されるのではないかとと思われる。(奈良 勲)

●編集顧問●

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長
五 味 重 春
東京都立医療技術短期大学
学長
津 山 直 一
国立身体障害者リハビリテ
ーションセンター総長
横 山 巖
七沢リハビリテーション
病院脳血管センター院長
(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

安 藤 徳 彦
神奈川県総合リハビリテ
ーションセンター
上 田 敏
東京大学リハビリテ
ーション部
鶴 見 隆 正
高知医科大学附属病院
奈 良 勲
金沢大学医療技術短期大学部
福 屋 靖 子
筑波大学
松 村 秩
東京都立医療技術短期大学
吉 尾 雅 春
協和会病院

●編集同人●

伊 藤 日出男
今 川 忠 男
宇都宮 初 夫
大喜多 潤
大 田 近 雄
大 橋 ゆかり
大 峯 三 郎
金 子 誠 喜
菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
高 田 京 子
高 橋 正 明
武 富 由 雄
寺 岡 久美子
富 岡 詔 子
長 澤 弘
橋 元 隆
濱 出 茂 治
半 田 健 壽
藤 沢 しげ子
前 田 哲 男
牧 田 光 代
松 沢 博
松 下 起 士
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 重 範
宮 本 省 三
矢 谷 令 子
山 下 隆 昭
山 本 和 儀
米 田 睦 男

理学療法ジャーナル

(第25巻 第10号)

1991年10月15日発行(毎月1回15日発行)

1部定価 1,442円(本体1,400円)

(配送料61円)

〔年ぎめ予約購読料 16,440円〕
(本体15,961円)
(送料弊社負担)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷5-24-3

電話 社内案内(03)3817-5600

本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当:渡邊・細田)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話(03)3637-0005

広告申込所 (株)医薬広告 電話(03)3814-1971

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 1991, Printed in Japan

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• 無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意ください。